

沖縄県体験の風をおこそう運動推進協議会 設 立 趣 意 書

今日、都市化、情報化、少子化が激しく進んでおり、子供達を取り巻く環境が大きく変化している中で、子供達が成長、発達していく過程で必要とされる様々な体験を経験しないまま成長し、自主性や自立性、協調性、責任感、忍耐力、コミュニケーション能力といった社会生活で基本となるべき資質や能力が十分に育成されていない状況が見られます。そしてこのことが、きれやすい子供やいじめ、ひきこもりなどの問題行動の一因になっているとも指摘をされています。

一方、行財政改革等の中で、これまで子供達に様々な体験活動の場や機会の提供の中心的役割を果たしてきた全国の青少年教育施設は年々減少傾向にあります。子供達が自立していく上で必要となる、発達段階に応じた体験活動の重要性を再認識し、こうした体験活動を支援する青少年教育施設や地域の青少年団体、NPO等が果たしていく役割を改めて認識していくことが重要と考えられます。

このような状況を踏まえ、自然体験活動をはじめとした体験活動の推進の在り方について協議し、社会全体で体験活動を推進する機運を高めるきっかけとすべく、中央青少年団体連絡協議会、自然体験活動推進協議会、全国青少年教育施設協議会、国立青少年教育振興機構の4つの団体が連携して実行委員会を立ち上げ、平成22年2月に「体験の風をおこそうフォーラム」が国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で開催され、このフォーラムでは「今、なぜ青少年にとって体験が必要なのか」「体験をとおして得られるものは何か」について改めて確認するとともに、「青少年体験活動推進宣言」（別添参照）が採択されました。

この「青少年体験活動推進宣言」を受け、同実行委員会に、全国公民館連合会、全日本社会教育連合会、全国子ども会連合会、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、日本海洋青少年団連盟が加わり、新たに「体験の風をおこそう運動推進委員会」（委員長；松本零士氏（漫画家））を立ち上げ、社会全体で体験活動の推進についての社会的機運の醸成を図る運動を推進しています。

しかしながら、沖縄県内においては、学校や家庭、地域などの中に、体験活動の必要性や有効性が広く認識されているとは言い難い現状であることから、自然体験をはじめとした様々な体験が、子供の成長にどれだけ大切なことかを保護者等に分かりやすく発信するとともに、青少年（教育）関係者とともに良質の体験活動を提供しつつ、沖縄県内に「体験の風」をおこすべく、このたび「沖縄県体験の風をおこそう運動推進協議会」を設立することといたしました。

「体験の風をおこそう」運動の推進には、家庭、地域、学校、行政など、多くの皆様のご協力、ご支援が不可欠であります。当協議会においては、子供達の健やかな成長のため、「体験の風をおこそう」運動が新たな国民運動として沖縄県内に定着するよう努めてまいりたいと考えておりますので、広く青少年（教育）関係者のご協力とともに、是非とも本趣旨にご賛同いただき、多くの皆様が会員としてご参加くださるよう衷心よりお願い申し上げます。

平成26年3月24日

設立発起人 沖縄エコツーリズム推進協議会会長 花井正光
沖縄県キャンプ協会理事長 宮里 勉
沖縄県公民館連絡協議会会長 城間幹子
沖縄県子ども会育成連絡協議会会長 饒平名知敬
沖縄県スポーツ少年団本部長 神谷育雄
沖縄県スポーツ推進委員協議会会長 太田敏勝
沖縄県青少年育成県民会議会長 新垣幸子
沖縄県青年団協議会会長 金城孝司
沖縄県体験型観光推進協議会会長 島袋徳和
沖縄県PTA連合会会長 伊敷 猛
沖縄県婦人連合会会長 平良 菊
沖縄県レクリエーション協会会長 浦崎 猛
沖縄地区青少年教育施設連絡協議会会長 平良 進
沖縄地方ラジオ体操連盟会長 浦崎 猛
ガールスカウト沖縄県連盟連盟長 仲地輝美
日本エコツーリズム協会理事（沖縄担当）開 梨香
日本ボーイスカウト沖縄県連盟理事長 宮里博史
(以上17団体 五十音順)